

ハイパー縄紋文化の難点

第6回 ハイパー縄紋文化の難点

日時 2016年12月17日

場所 石川四高記念文化交流館 多目的利用室2

1. 吉田泰幸 (金沢大学国際文化資源学研究所)「縄文と現代日本のイデオロギー」
2. 大塚達朗 (南山大学)「消費される縄紋文化」
3. 対話「ハイパー縄紋文化の難点」

セミナーシリーズ第6回は、吉田がセインズベリー日本藝術研究所の日本考古学フェローとして英国に滞在している間に構想された。タイトルの「ハイパー縄紋文化」とは、ゲストスピーカーである大塚達朗氏の造語である。大塚氏が雑誌『物質文化』第96号に今回の発表と同タイトルの「消費される縄紋文化」を掲載する際、筆者は大塚氏から英語タイトルについて相談を受けた。論文の中で繰り返されるいくつかのキーワードを英語タイトルに含める方針で、同研究所の考古学文化遺産学センター長で、縄文時代研究者でもあるサイモン・ケイナー氏と話し合った。最終的に英語タイトルは“Deconstructing the idea of Jomon ‘Culture’: Revisiting the model of Yamanouchi Sugao”となったが、候補のひとつには、大塚氏が論文中で繰り返すキーワードを組み合わせた“Aporia of ‘Hyper Jomon Culture’”があった。「アポリア」はギリシャ語に由来する哲学用語で、日本の人文・社会系の論文などで目にすることはあるが、英語圏でほとんど使われることはないとの理由で、この案は採用しなかったが、その日本語訳、「ハイパー縄紋文化の難点」を第6回のタイトルとして採用することにした。

吉田は2016年4月、アメリカのフロリダ州オーランドで開催された Society for American Archaeology (SAA) に参加した。そこでのペーパーのタイトルは“The Prehistoric Jomon and ideological Conflict in Contemporary Japan”で、第6回での発表の基となった。これに大塚発表を加え、左右どちらの政治的イデオロギーにも利用される「縄文」なるものは、研究者もその構築に関わっているのではないかというのが第6回の主要な問いである。

広報チラシは上記大塚論文中のキーワード群と、吉田のSAAペーパー中のキーワード群を、第6回の最重要テーマのひとつである山内清男の文様帯系統論を説明する図の中で使われている土器で、かつ大塚氏の主要研究テーマのひとつでもある安行式土器の輪郭内に無作為に並べたものをメインイメージとしている。

当日の吉田の発表は要旨のみ、大塚氏の発表は『物質文化』掲載論文をもとにしているため、その要約になっている部分と、この論文の成り立ちについての重要なエピソードと考えられる部分で再構成したものを掲載している。

文化資源学セミナー Seminar on Cultural Resource Studies
 主催：金沢大学国際文化資源学研究所 国際文化遺産学センター
 共催：金沢大学大学院社会連携研究部 文化遺産マナーセンター
 『考古学と現代社会』第4号 Archaeology and Contemporary Society 6

金沢大学 International Center for Cultural Resource Studies
 国際文化遺産学センター
 2-1-1 Gakkocho, Kanazawa, Ishikawa, Japan

ハイパー縄紋文化の難点 Deconstructing 'Hyper' Jomon Culture

講師	題目	要旨	質疑応答
1 吉田 泰幸 YOSHIDA Taisukei (金沢大学国際文化資源学研究所センター) The Prehistoric Jomon and Ideological Conflict in Contemporary Japan	縄文と現代日本のイデオロギー Archaeology, Ideology, and Politics	野原 隆典 Nohara Takahiko 縄文時代のイデオロギー Jomonist Ideology 縄文土器一型式群は大きな誤解 Archaeology, Ideology, and Politics	質疑応答 縄文土器一型式群は大きな誤解 Archaeology, Ideology, and Politics
2 大塚 達朗 OTSUKA Tetsuro (南山大学) 消費される縄紋文化 Deconstructing the Idea of Jomon 'Culture': Revisiting the Model of Yamanouchi Sugao	ハイパー縄紋文化の難点 Deconstructing 'Hyper' Jomon Culture	野原 隆典 Nohara Takahiko 縄文時代のイデオロギー Jomonist Ideology 縄文土器一型式群は大きな誤解 Archaeology, Ideology, and Politics	質疑応答 縄文土器一型式群は大きな誤解 Archaeology, Ideology, and Politics
3 対話: ハイパー縄紋文化の難点 Dialogues: Deconstructing 'Hyper' Jomon Culture			

2016
12 / 17
(土)
13:30 ~ 17:30

会場：石川四高記念文化交流館 多目的利用室2
会場URL：http://www.kanazawa-u.ac.jp/crs/

問い合わせ先：国際文化資源学研究所
Tel: 076-564-5602 Email: yoshitara@kanazawa-u.ac.jp